

会資本総合整備計画 事後評価書

平成31年5月21日

計画の名称	12 高速道路 I C等と交通拠点等のネットワーク強化を促進するみちづくり							重点計画の該当	○	
計画の期間	平成25年度 ～ 平成29年度 (5年間)				交付対象	愛媛県、伊予市				
計画の目標	地域経済の発展及び広域的な交流・連携等に必要不可欠な高速道路等と、交通拠点及び生活圏域を結ぶ I Cアクセス道路等の整備を促進し、物流及び交流ネットワークの強化を図る。									
計画の成果目標 (定量的指標)	交通拠点または生活圏域から、高速道路 I C等における移動時間を22%短縮する。									
定量的指標の定義及び算定式	$\text{縮減率} = \frac{\Sigma [\text{整備後のアクセス時間 (時間)} - \text{整備前のアクセス時間 (時間)}]}{\Sigma [\text{整備前のアクセス時間 (時間)}]}$									
					定量的指標の現況値及び目標値			備考		
					当初現況値	中間目標値	最終目標値			
					(H25当初)	(H28末)	(H29末)	<ul style="list-style-type: none"> ・ (国土強靱化地域計画名) に基づき実施される要素事業 ・ (定住自立圏共生ビジョン名) に基づき実施される要素事業 ・ (連携中核都市圏ビジョン名) に基づき実施される要素事業 		
					1.00	-	0.78			
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	5,020百万円	A	4,990百万円	B	0百万円	C	30百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.6%

1. 交付対象事業の進捗状況

A1 道路事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考
											H25	H26	H27	H28	H29				
12-A1-1	道路	一般	愛媛県	直接	-	県道	改築	(一)久米垣生線 余戸南～余戸西	バイパス L=0.60km	松山市						289		-	
12-A1-2	道路	一般	愛媛県	直接	-	県道	改築	(一)砥部伊予松山線 余戸西	現道拡幅 L=0.20km	松山市						642		-	
12-A1-3	道路	一般	愛媛県	直接	-	県道	改築	(一)今治丹原線 朝倉下	現道拡幅 L=0.46km	今治市						530		-	
12-A1-4	街路	一般	愛媛県	直接	-	S街路	改築	(都)来住余戸線	バイパス L=0.49km	松山市						206		-	国土強靱化、安全社会資本整備交付金
12-A1-5	街路	一般	愛媛県	直接	-	S街路	改築	(都)余戸北吉田線	現道拡幅・バイパス L=1.28m	松山市						1,031		-	国土強靱化、安全社会資本整備交付金
12-A1-6	道路	一般	伊予市	直接	-	市道	改築	(2)日尾野引坂線	現道拡幅等 L=1.45km	伊予市						275	1.1	-	国土強靱化、安全社会資本整備交付金
12-A1-7	街路	一般	愛媛県	直接	-	S街路	改築	(都)松山駅西口南江戸線	バイパス L=0.46km	松山市						800		-	
12-A1-8	道路	一般	愛媛県	直接	-	県道	改築	(一)新居浜東港線 観音原	現道拡幅 L=0.60km	新居浜市						430		-	
12-A1-9	道路	一般	愛媛県	直接	-	県道	改築	(一)広田双海線 岡	現道拡幅 L=0.68km	伊予市						10		-	
12-A1-10	道路	一般	愛媛県	直接	-	県道	改築	(一)砥部伊予松山線 (アクセス道路)	バイパス L=1.6km	伊予市、松前町						777		-	
											小計 (道路事業)			4,990					
B 関連社会資本整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考			
										H25	H26	H27	H28	H29					
											合計			0					
C 効果促進事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考			
										H25	H26	H27	H28	H29					
12-C1-1	道路	一般	愛媛県	直接	-	県道	改築	(一)広田双海線 岡	現道拡幅 L=0.68km	伊予市						3			
12-C1-2	道路	一般	伊予市	直接	-	市道	改築	(2)日尾野引坂線 外	現道拡幅等 L=1.45km	伊予市						27			
											合計			30					
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)				全体事業費 (百万円)	備考					
									H25	H26	H27	H28			H29				
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考							

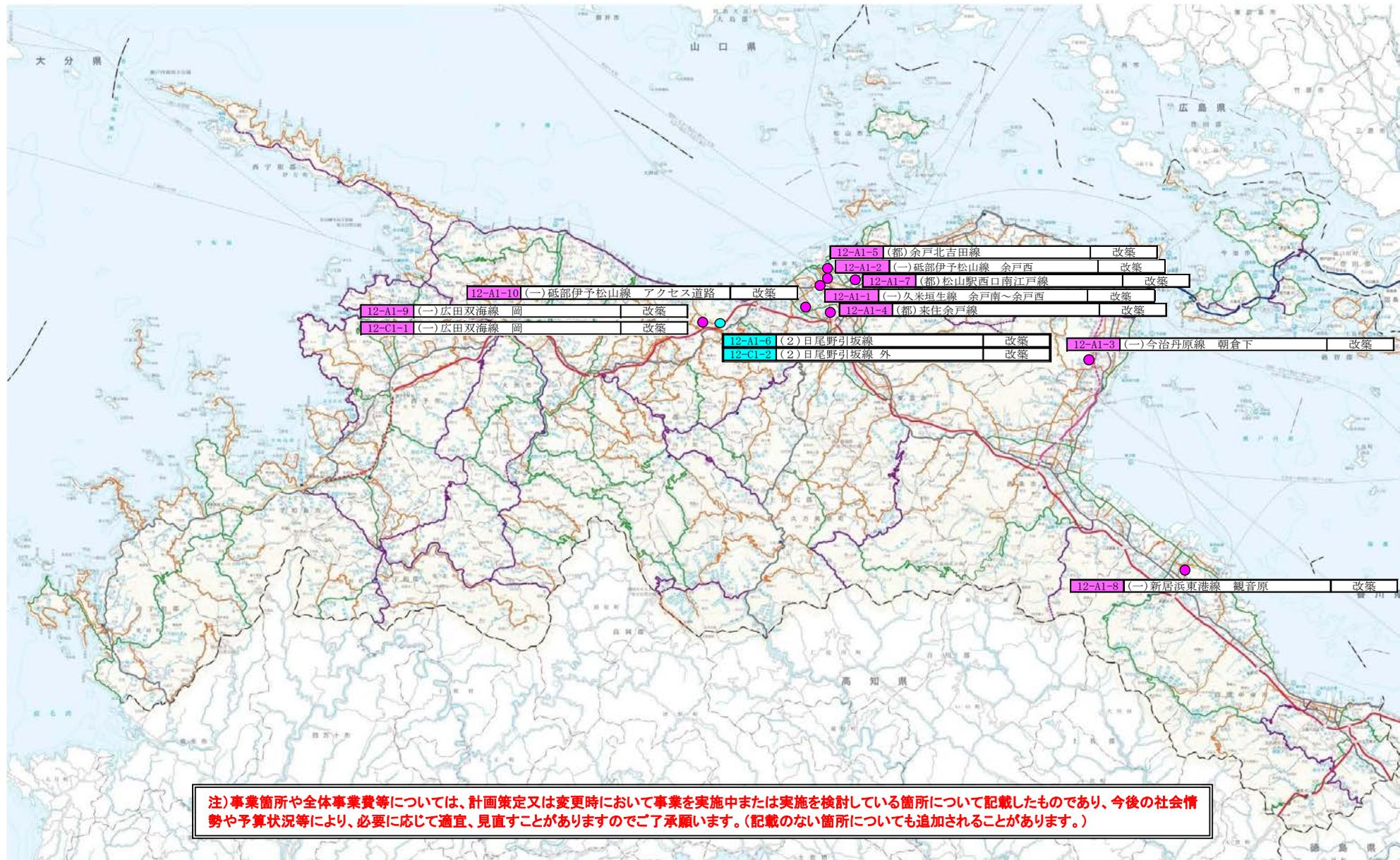
会資本総合整備計画 事後評価書

平成31年5月21日

計画の名称	12 高速道路 I C等と交通拠点等のネットワーク強化を促進するみちづくり	重点計画の該当	○	
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 松山外環状道路空港線側道部の供用を平成29年度に開始し、松山IC～松山空港間のアクセス時間が縮減された。 (一) 新居浜東港線バイパスのうちL=0.44kmの供用を平成29年度に開始し、輸送経路の郷交差点～新居浜IC間のアクセス時間が縮減された。 		
II 定量的指標の達成状況	指標① (交通拠点または生活圏域から、高速道路IC等における整備前後の移動時間の縮減率)	最終目標値	0.78	目標値と実績値に差が出た要因 交通拠点または生活圏域から高速道路 I C等における整備前後の移動時間は確実に縮減できているが、えひめ国体を控え優先的に整備する必要のあった事業を先取りした結果、一部の要素事業委において計画期間内に事業を完了できなかったため、目標に対し11ポイントの縮減が達成できなかった。
		最終実績値	0.87	
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> 松山外環状道路空港線側道部の供用により、並行道路の旅行速度が改善、交通事故数が減少傾向にある。 		

(参考様式3)

計画の名称	12 高速道路 I C等と交通拠点等のネットワーク強化を促進するみちづくり	交付対象	愛媛県、伊予市
計画の期間	平成25年度 ～ 平成29年度 (5年間)		



注) 事業箇所や全体事業費等については、計画策定又は変更時において事業を実施中または実施を検討している箇所について記載したものであり、今後の社会情勢や予算状況等により、必要に応じて適宜、見直すことがありますのでご了承願います。(記載のない箇所についても追加されることがあります。)